

(5) 市町村性質別歳出決算分析表(住民一人当たりのコスト)

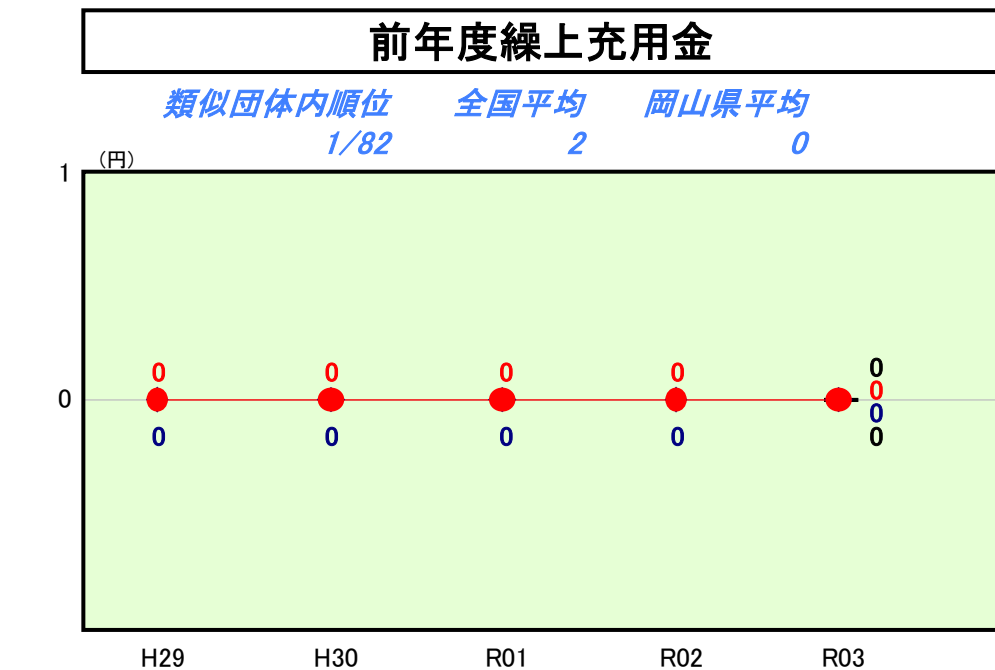
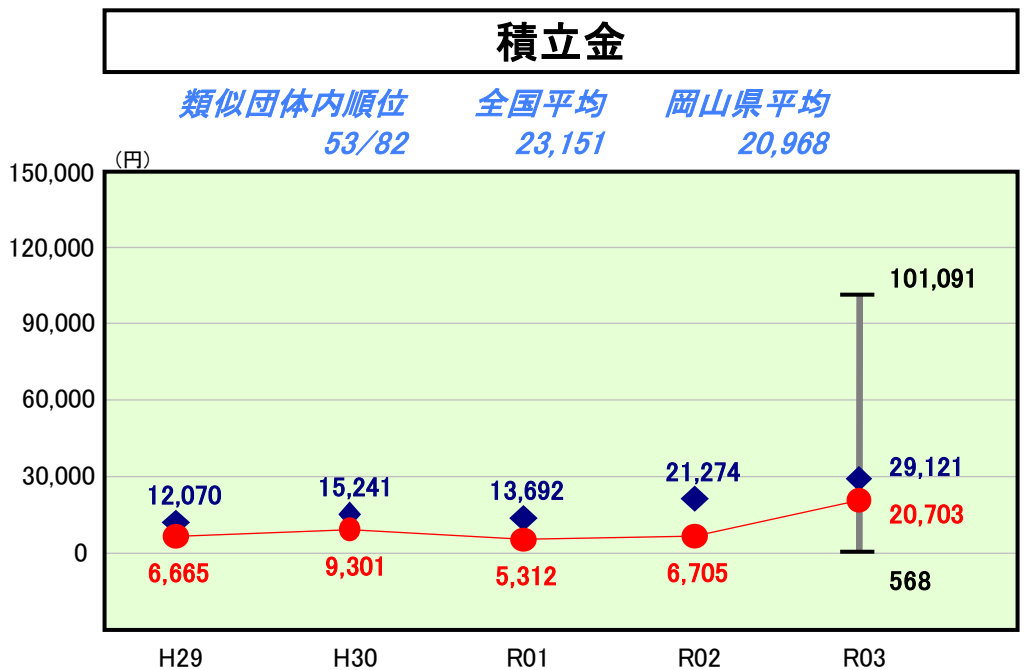
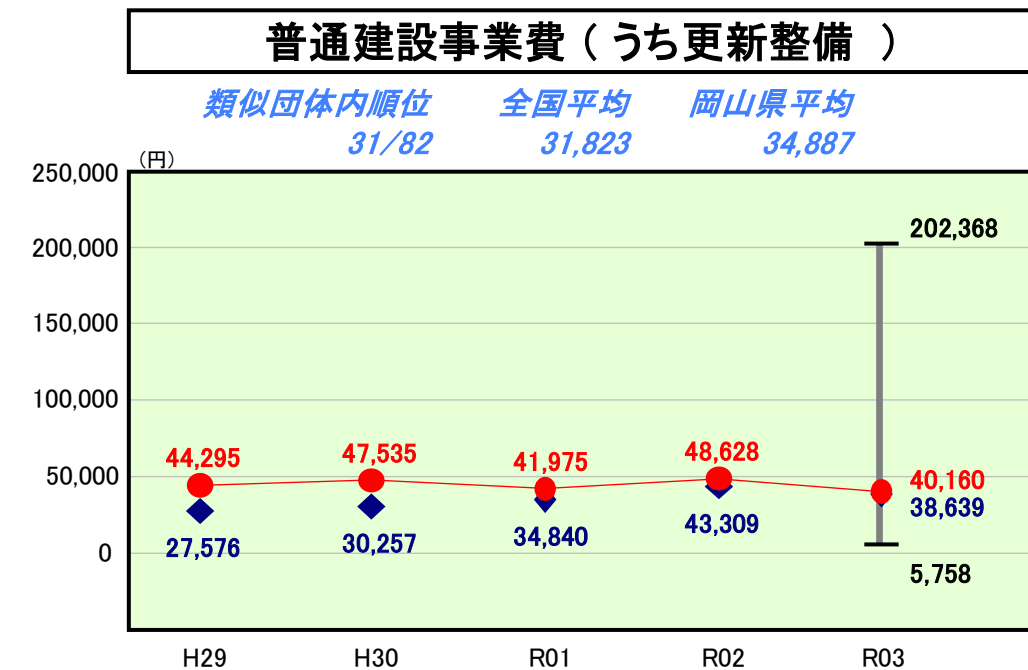
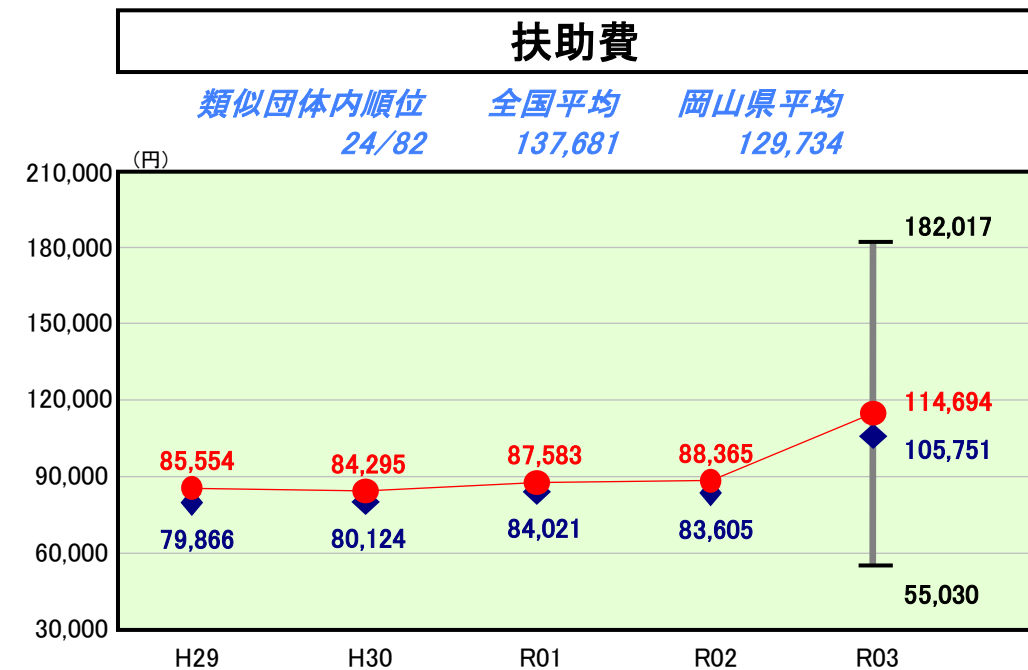
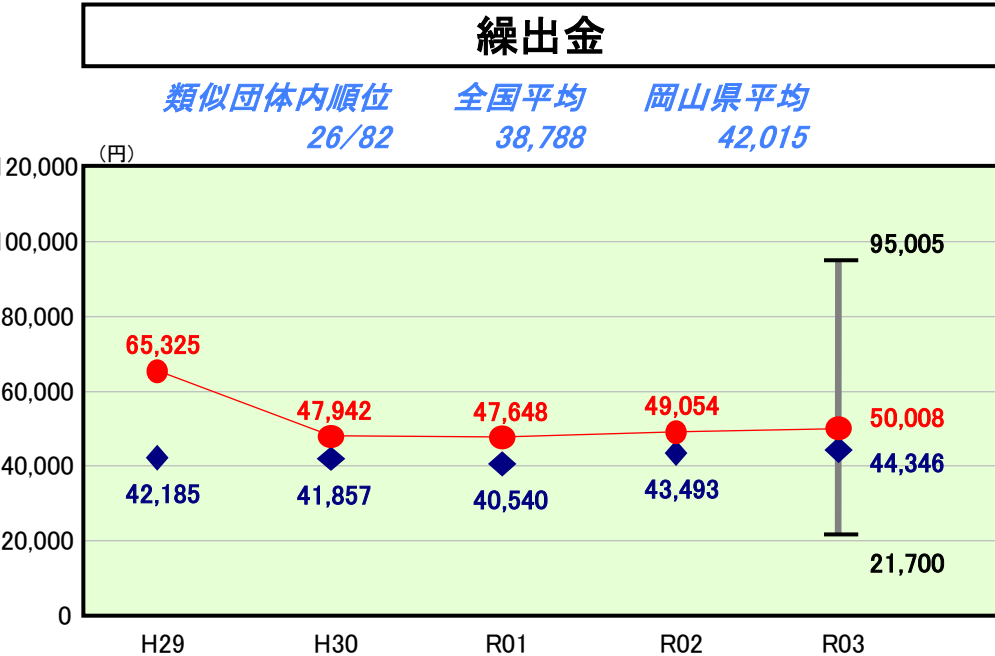
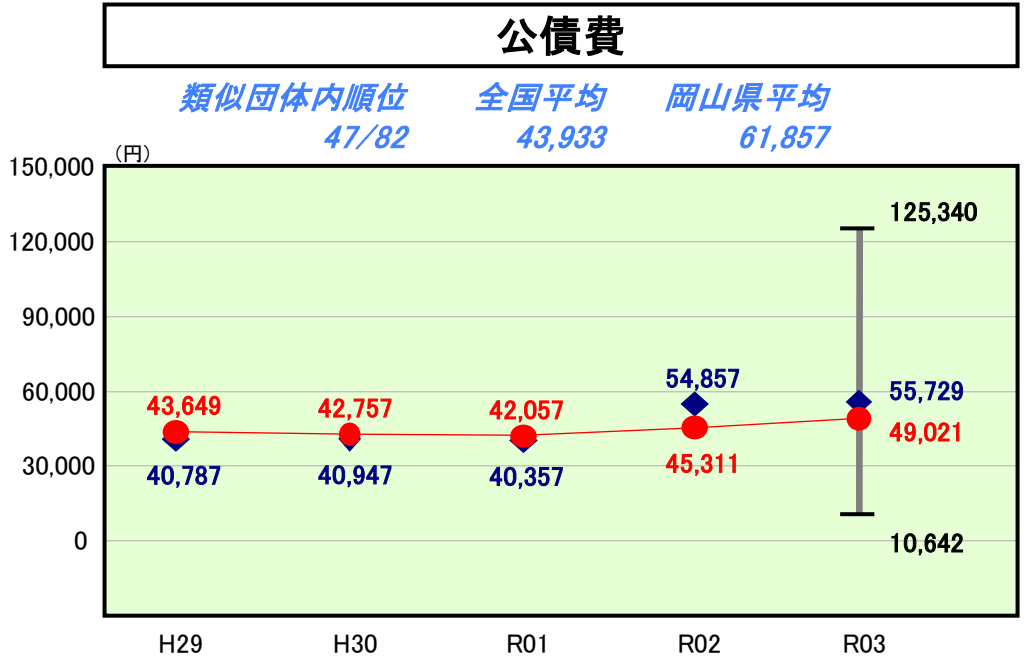
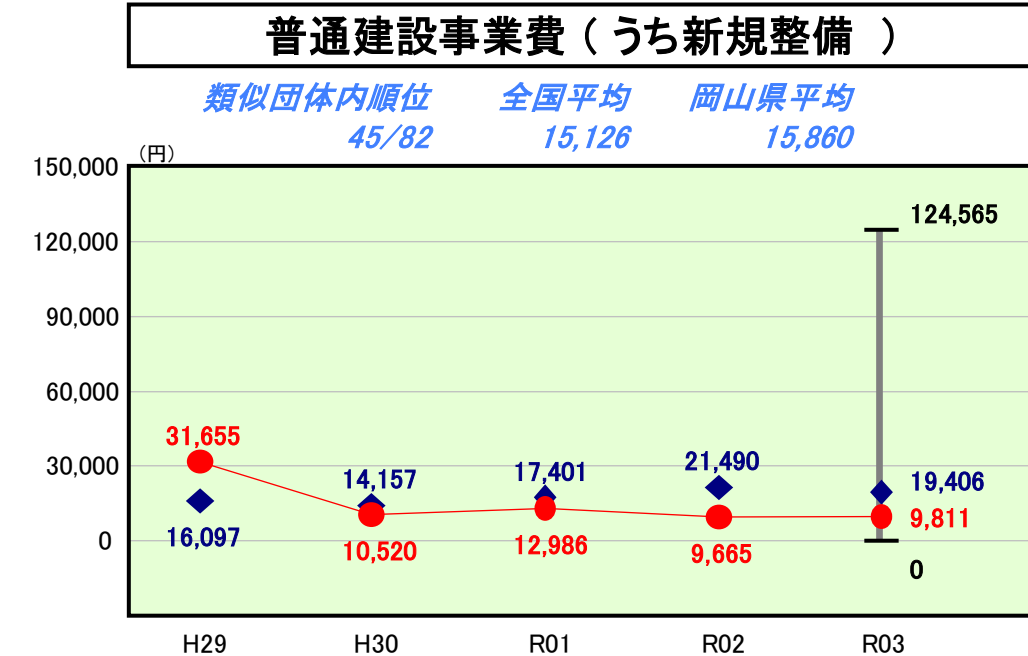
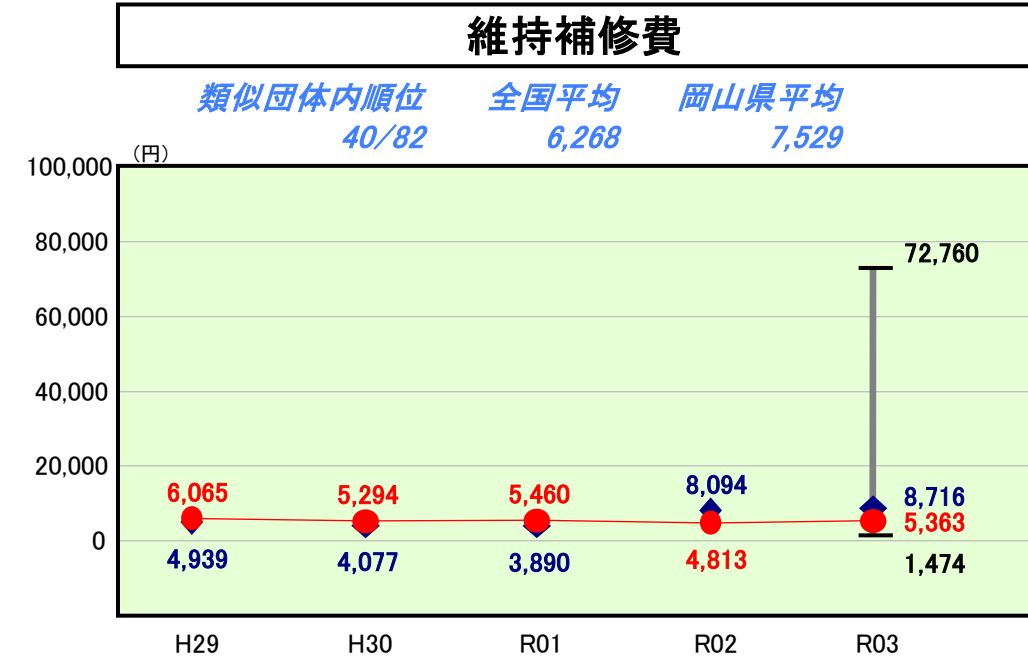
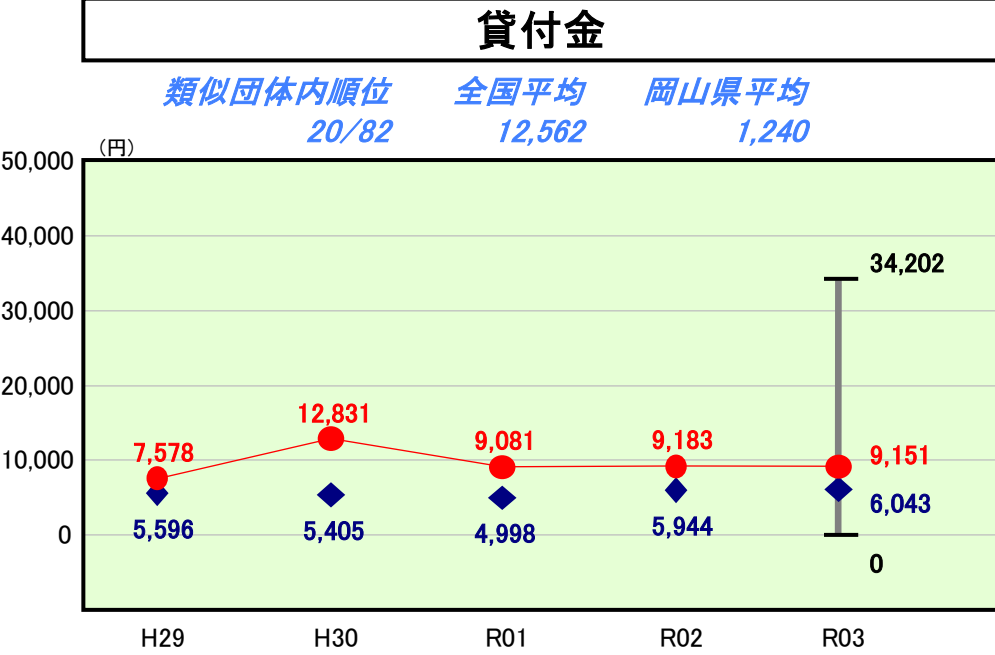
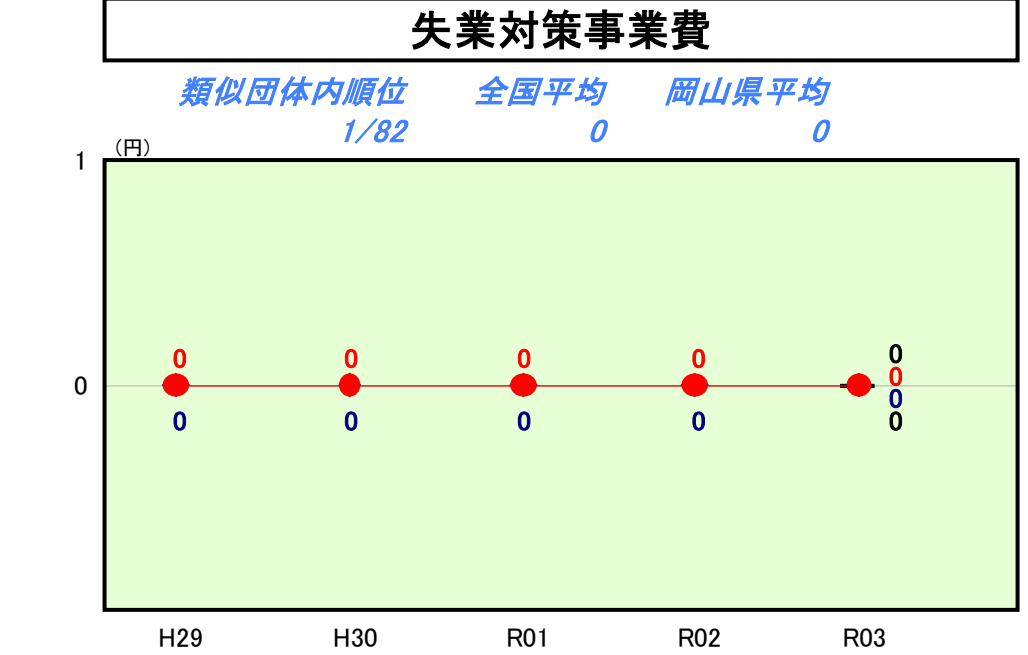
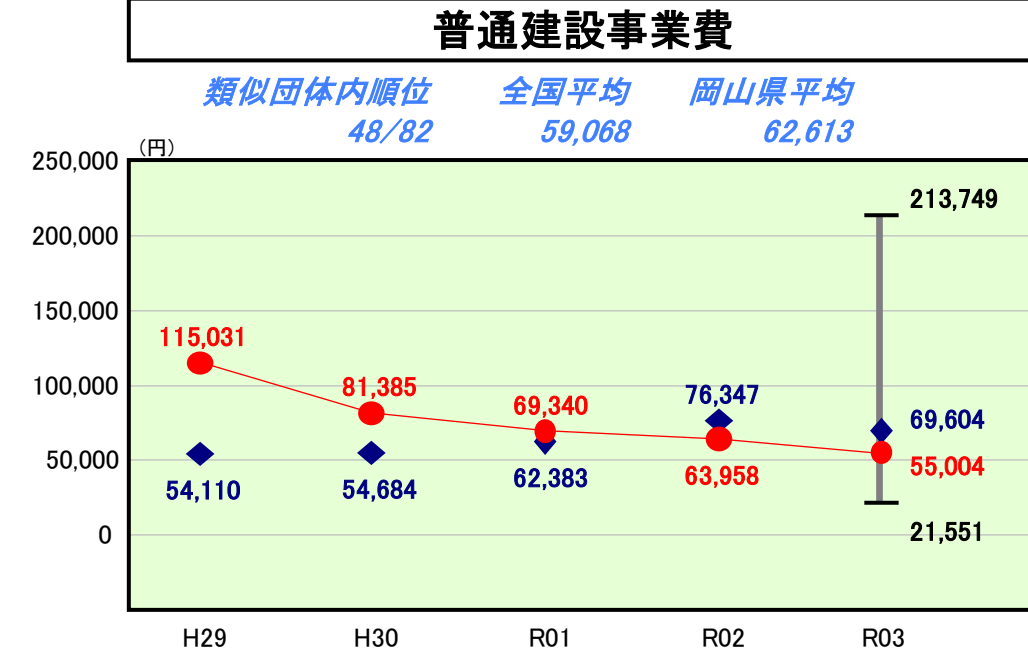
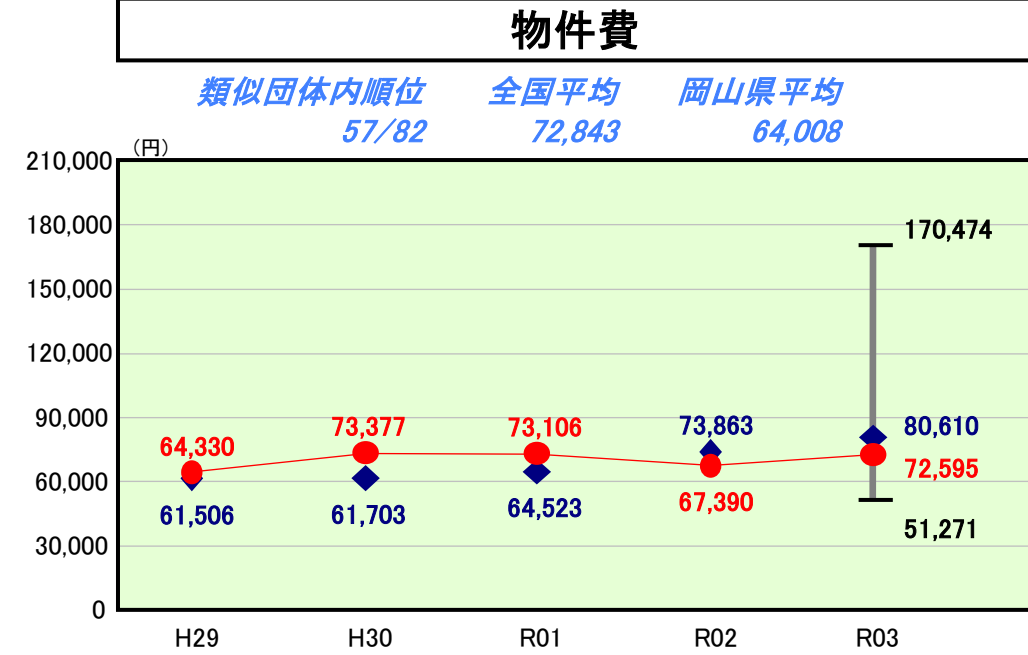
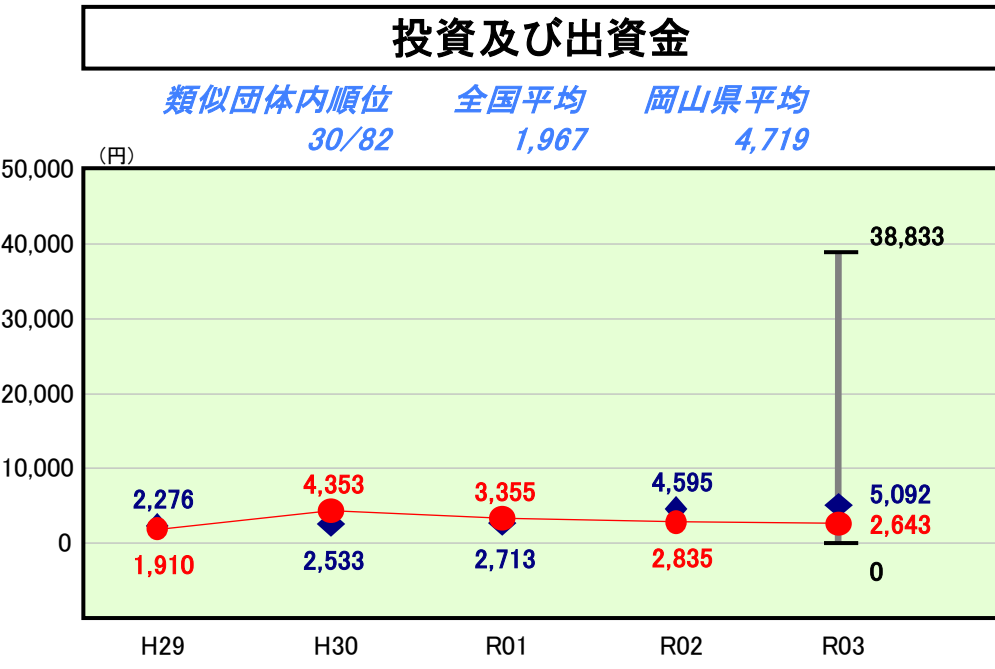
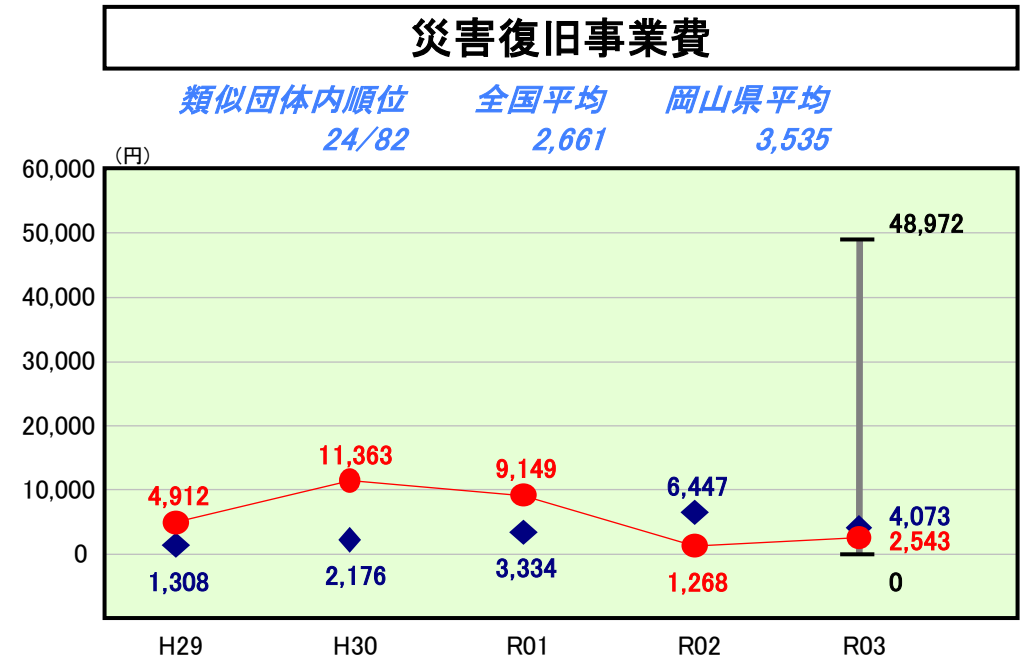
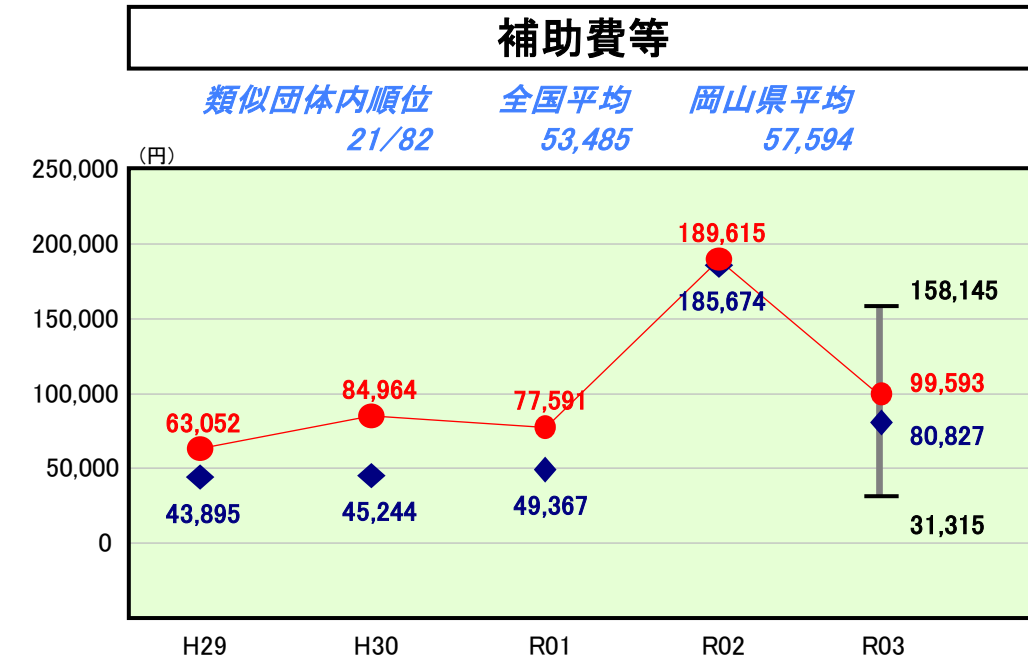
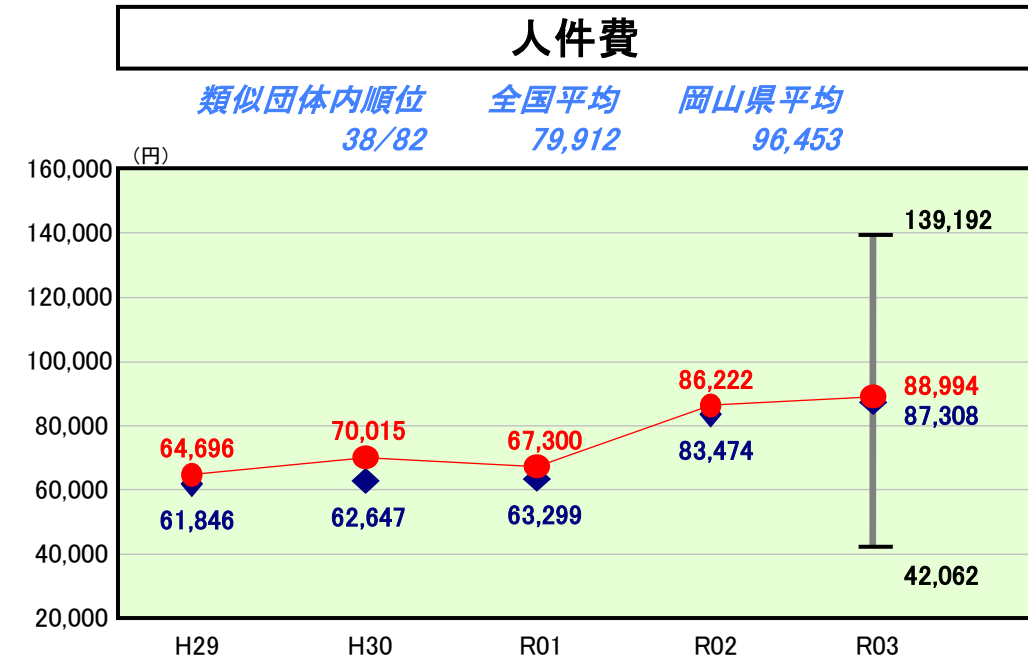
令和3年度

岡山県笠岡市

人口	46,270人(R4.1.1現在)	実質赤字比率	-%
うち日本人	45,689人(R4.1.1現在)	連結実質赤字比率	-%
面積	136.24km ²	実質公債費比率	6.5%
歳入総額	27,275,011千円	将来負担比率	51.0%
歳出総額	26,388,381千円	市町村類型	H29 II-2 H30 II-2 R01 II-2
実質収支	814,183千円	(年度毎)	R02 I-2 R03 I-2
標準財政規模	13,895,677千円		
地方債現在高	27,449,329千円		



※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。
 ※ 人口については、各調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口に基づいている。
 ※ 類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、令和3年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。



性質別歳出の分析欄

物件費はワクチン接種事業をはじめとする新型コロナウイルス感染症対策経費が増額となったことから、全体では5,205円の増となった。扶助費は新型コロナ対策の各種給付金等が皆増となっており、26,329円の大幅増となっている。補助費は一部事務組合への負担金が増加したものの、特別定額給付金給付事業の皆減が大きく、前年度と比較すると90,022円の大幅な減となった。普通建設事業においては、救急艇整備や公共施設の改修等、新規の整備が増えた一方、自然災害防止事業やGIGAスクール関連事業の減少に伴い、全体としては8,954円の減となっている。公債費では元金償還金の増により一人当たり3,710円増となった。積立金は普通交付税の増に伴う減債基金及び財政調整基金への積立を行なったことにより、13,998円の大幅増となった。新型コロナウイルス感染症対策事業の影響により大きく増減があった一方、全体としては人口が前年度比1.9%減となっていることもあり、一人当たりの経費は増加傾向となった。